



THE  
WAKASA WAN  
ENERGY  
RESEARCH  
CENTER

〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64 号 52 番地 1  
公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター

# エネ研 ニュース

Vol.74

<http://www.werc.or.jp/>

平成 26 年 6 月 30 日発行

## 国際原子力機関(IAEA)の研修「メンタリングコース」を開催しました

平成 26 年 6 月 2 日から 13 日にかけて、IAEA、原子力国際協力センター及びエネ研の共催で、原子力人材育成研修「メンタリングコース」を開催しました。

この研修は、原子力発電の導入を検討している IAEA 加盟国の行政官を対象に、原子力関連施設などの視察を行い、原子力発電に関する日本の技術や福島第一原子力発電所事故後の安全対策などについての知識を習得することを目的として実施しているものです。



研修生は 11 か国（バングラデシュ、インドネシア、マレーシア、モンゴル、フィリピン、スリランカ、タイ、ベトナム、トルコ、リトアニア、スーダン）から 16 名で、リトアニアエネルギー省副大臣やスリランカ原子力庁長官といった要人も参加しました。日本側からは原子力分野での経験が豊富な指導者（メンター）6 名（内 1 名はエネ研福井県国際原子力人材育成センター長）が同行し、小グループに分かれての補足説明など、研修生に対するサポートを行いました。

研修生一行は、9 日から本県に入り、エネ研にて本県の原子力政策や放射線利用研究に関する講義の受講と加速器施設の見学を行った後、原子力の PR 施設や放射線監視施設を見学しました。

翌日以降は、原子力発電の運転・保守訓練施設や大飯発電所などの視察を行い、多様な施設が集積する本県の特徴を活かした原子力技術や人材育成の取組みを紹介するとともに、商工会議所や地元原子力関連企業へ訪問し、立地地域と原子力の関わりなどについて理解を深めていただきました。

### 【福井県内の訪問先】

若狭湾エネルギー研究センター、福井原子力センター「あっとほうむ」、福井県原子力環境監視センター、原子力発電訓練センター、日本原電敦賀総合研修センター、敦賀商工会議所、プラントテクノス、関西電力大飯発電所（本研修にご協力いただき、感謝申し上げます。）



歓迎の挨拶をする旭理事長



エネ研での研修の様子



日本原電敦賀総合研修センター視察



プラントテクノス訪問

## 平成26年度「嶺南地域新産業創出モデル事業」等の募集を開始しました

エネ研では、嶺南地域の企業の皆さまが将来の製品化や事業化に向けて行う、原子力・エネルギー、地域産業活性化、環境の各分野に関連した研究開発を支援する制度として「嶺南地域新産業創出モデル事業補助金」を実施しています。

また、福井県内の企業の皆さまの研究開発を初期段階から支援するため、今年度から新たな補助金制度「新産業創出シーズ発掘事業補助金」を設けました。

この度、この2つの支援制度について、募集を開始しました。皆さまからのご応募、ご相談をお待ちしております。

制度名称	対象事業	対象者	補助額 (補助率)	募集 期間
①新シーズ 発掘事業	新技術・新製品を開発するためのシーズ、ニーズ等の調査およびこれらの調査に基づく簡易な試作実験等	① 福井県内に事業所を有する企業 ② 上記①を含むグループ (県内の試験研究機関、教育機関を含むことができる)	100万円以下 (1/2以内※)	随時 (6/16~ 2/27)
モデル事業	(基礎研究枠) 技術シーズの実用化の可能性を探索するための調査および基礎的な実験	① 嶺南地域に事業所を有する企業 ② 上記①を含むグループ	200万円以下 (2/3以内)	6/16~ 7/14
	(実用化研究枠) 実用化に向けた試作品・試作機等の開発および販路開拓		600万円以下 (2/3以内)	

※ 嶺南地域の中小企業等およびそれを含むグループについては、補助率を 2/3 以内とします。

【問い合わせ先】エネ研・産業育成部 ☎0770-24-7276

## 支援制度の成果紹介:身体汚染防護服(セーレン(株))

福井県坂井市に研究開発センターを置く繊維総合メーカーのセーレン(株)は、エネ研の「拠点化計画促進研究開発事業補助金」を活用し、機能性を向上した身体汚染防護服を開発しました。

同社は、これまで原子力発電所で使用する一般的な防護服を製造していましたが、東京電力(株)福島第一発電所における現場作業や被災住民の一時帰宅などにも利用されるよう、強度に加えて通気性や柔軟性にも優れた製品を目指して開発を行ってきました。

平成24年度には素材となる不織布材料の検討を行い、既存品よりも強度や快適性、防護性に優れつつ、ソフトな風合いを保つバランスのとれた改良品を開発しました。また、平成25年度には電力会社などで試作品を実際にテストしながら素材の改良や縫製の工夫を継続し、夏場の作業時においても身体への負担が少なく、快適な使い捨て防護(防塵)服を開発することができました。

エネ研では、県内企業が行う新製品・新技術の研究開発の取組みに対して、補助金制度などで支援を行っています。詳細については、エネ研・産業育成部 (☎ 0770-24-7276) までお問合せください。

